

経済消防常任委員会審査概要報告書

委員長 野上 達夫

- I 開催年月日 平成 29 年 6 月 14 日（木）
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 15 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎野上 達夫 ○藪中 一夫 永森 茂
曾田 康司 四十九清治 畠 起也
（◎…委員長、○…副委員長）
- 〔議長〕※曾田 康司議長は委員として出席
- 〔副議長〕※樋詰 和子副議長は民生病院常任委員会出席のため欠席
- 〔説明員〕別紙名簿のとおり
- 〔委員外議員〕なし
- 〔事務局職員〕敦賀 茂樹 柚原 規泰 六土 幸拓
- 〔傍聴者〕1 人

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案 第 45 号 平成 29 年度 高岡市一般会計補正予算（第 1 号）のうち
本委員会所管分
- 議案 第 53 号 高岡市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の
一部を改正する条例
- 議案 第 54 号 高岡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 議案 第 59 号 財産の取得について
（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）
- 及び
- 議案 第 60 号 財産の処分について（土地）

以上、予算議案 1 件及びその他議案 4 件の計 5 件は審査の結果、議案第 45 号のうち本委員会所管分、議案第 53 号、議案第 54 号、議案第 59 号、及び議案第 60 号については全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 45 号のうちリノベーションスクールについて】

- 民間主体のリノベーションまちづくりを促し、まちの魅力を高めることにより、中心市街地の活性化を図るため、リノベーションまちづくり事業費が約 1,300 万円補正計上されているが、本事業の内容と事業費の内訳は。
- △ 本事業では、最初に、プレセミナーを行いスクールの意義や全国の事例を紹介した後に、リノベーションスクールを開催する予定である。参加者は 25 名程度を予想しており、その中で幾つかのユニットを組み、ユニットごとに実際の物件を活用するためのリノベーションの手法や、資金調達について学びながら検討を進めることとしている。最後にプレゼンテーションを行い、優秀な提案については、次年度以降の事業化に向けて取り組むこととしている。

事業費の内訳は、リノベーションスクールの運営経費が 8 割を占めており、その他が受講者募集のホームページ作成やチラシ作成、中心市街地の空き物件調査に係る費用である。

【議案第 45 号のうち若手クリエイターと伝統工芸企業によるネットワーク構築について】

- 若手クリエイターと伝統工芸企業によるネットワーク構築を図るため、地場産業振興事業費が 250 万円補正計上されているが、本事業の内容と事業費の内訳は。
- △ 本事業は、クラフトコンペティションに入賞した若手工芸作家と企業や工房等が連携し、新たな作品の創作活動を支援する取り組みである。将来に向けた人材の育成と、人材同志を結ぶネットワークを構築し持続的な地域経済の発展につなげていきたいと考えている。

事業費の内訳は、新たな作品創造にかかるファシリテーターとホスト企業の打合せ 10 回程度の謝礼及び製作材料費で 150 万円、さらに作家等とファシリテーターの交通・宿泊費や企画費等で 100 万円である。契約内容や契約期間等については内容等を精査したうえで契約を取り交わす考えである。

【議案第 54 号のうち非常勤消防団員等の配偶者に対する補償基礎額について】

- 消防団員等公務災害補償条例を改正し、非常勤消防団員等の配偶者に対する補償基礎額を減額するとしているが、消防団員の獲得が難しい現状に逆行していると考ええる。一般職の職員の給与改正に合わせるのではなく独自の改正が必要と考えるが、見解は。
- △ 国が定めている非常勤消防団員等に係る損害補償の政令を基準に高岡市消防団員等公務災害補償条例を定めているため、本市が独自に加算額や補償額を改正するこ

とは困難である。

2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

。旅する新虎マーケットにおけるイベント「高岡の日」の開催について

〈 委員から次のような質疑があった。 〉

【「旅するスタンド」の出品について】

- 「旅するスタンド」において味噌等を使用した限定定食を展開とあるが、どのような内容か。
- △ 高岡市の老舗味噌醤油メーカーである山元醸造からスペシャル和定食が出品される。その他味噌玉づくりのワークショップ等も展開される。
- このようなイベントでは、「高岡昆布飯」や「ととまる」及び「大仏コロッケ」など本市につながりのある食について発信していくべきと考えるが見解は。
- △ 「旅するスタンド」については、主催者側に昆布を使用したメニューやグリーンラーメン等の高岡の特色のある食に関する情報を提供して、出店を要望していたが、主催者側の独自の調査と意向に基づき、今回は山元醸造のスペシャル和定食に決定したようである。

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査をする必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

〈 委員から質疑はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

経済消防常任委員会 当局説明員（16名）

産業振興部長	福 田 直 之	消防長	澤 崎 茂
次長 商業雇用課長	山 村 淳 子	次長	寺 口 克 己
参事	宮 本 哲 哉	総務課長	広 田 一 徳
参事	舘 下 徹	予防課長	牧 真
産業企画課長	末 坂 進	警防課長	田 川 裕 之
観光交流課長	長 谷 川 聡	通信指令課長	浦 島 章 浩
農業水産課長	有 栖 友 広		
農地林務課長	村 本 民 則		
みなと振興課長	須 田 稔 彦		
農業委員会事務局長	山 田 晃		